

アクティブラーニングー効果的な学習課題の作り方ー

■講師



中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 教授)

専門は大学教育論、人材育成論。1998年に名古屋大学高等教育研究センター助手、2007年に准教授、2015年より現職。著書に、『大学の教員免許業務 Q&A』(共編著)、『看護現場で使える教育学の理論と技法』(編著)、『大学の IR Q&A』(共編著)、『大学の教務 Q&A』(共編著)、『大学教員のための教室英語表現 300』(編著)、『大学教員準備講座』(共著)、『アジア・オセアニアの高等教育』(分担執筆)、『成長するティップス先生』(共著)などがある。

■プログラム概要

アクティブラーニングは、現在の大学教育政策の重要なキーワードとなっています。アクティブラーニングは学習の形態が問われるものであり、学習の内容や質を問うものではありません。当たり前ですが、アクティブラーニングを取り入れれば自動的に授業の学習成果が向上するものではありません。

アクティブラーニングを授業に取り入れる際には、学習の質にこだわる必要があります。質の高い学習につながるように学習活動を設計し、実際に質の高い学習になっているのかどうかを確認することが必要になります。とりわけ大事になるのがアクティブラーニングの学習課題の作り方です。

本研修では、アクティブラーニングの方法を理解した上で、効果的な学習課題の作り方を身につけることを目指します。

■主な受講対象

アクティブラーニングの実践に関心のある教員

■本プログラムの到達目標

1. アクティブラーニングについて理解し、自分の授業で活用できる手法を選択することができる。
2. 「本質的な問い」という概念を理解し、自分の授業における本質的な問いとは何かを明らかにすることができる。
3. アクティブラーニングの効果的な学習課題をつくることができる。
4. アクティブラーニングに関する多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気貢献することができる。

■日時・会場

日 時 : 平成27年8月27日(木)10:00~12:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス